

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年9月6日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年9月6日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【試掘作業における埋設ケーブルの損傷について】 1・2号機排気筒周辺地盤改良工事における1号機原子炉建屋西側の碎石盛土部の試掘作業において、埋設ケーブル2本を損傷させた。 なお、警報の発生はなし。当該ケーブルの用途を調査中。	GⅢ
2	【多核種除去装置(A)のバッチ処理タンク1A用pH計試料採取配管の詰まりについて】 多核種除去装置(A)のバッチ処理タンク1A用pH計の試料採取流量低を示す警報が発生。 原因は、試料採取配管の詰まりと推定。今後、当該配管を点検予定。	GⅢ